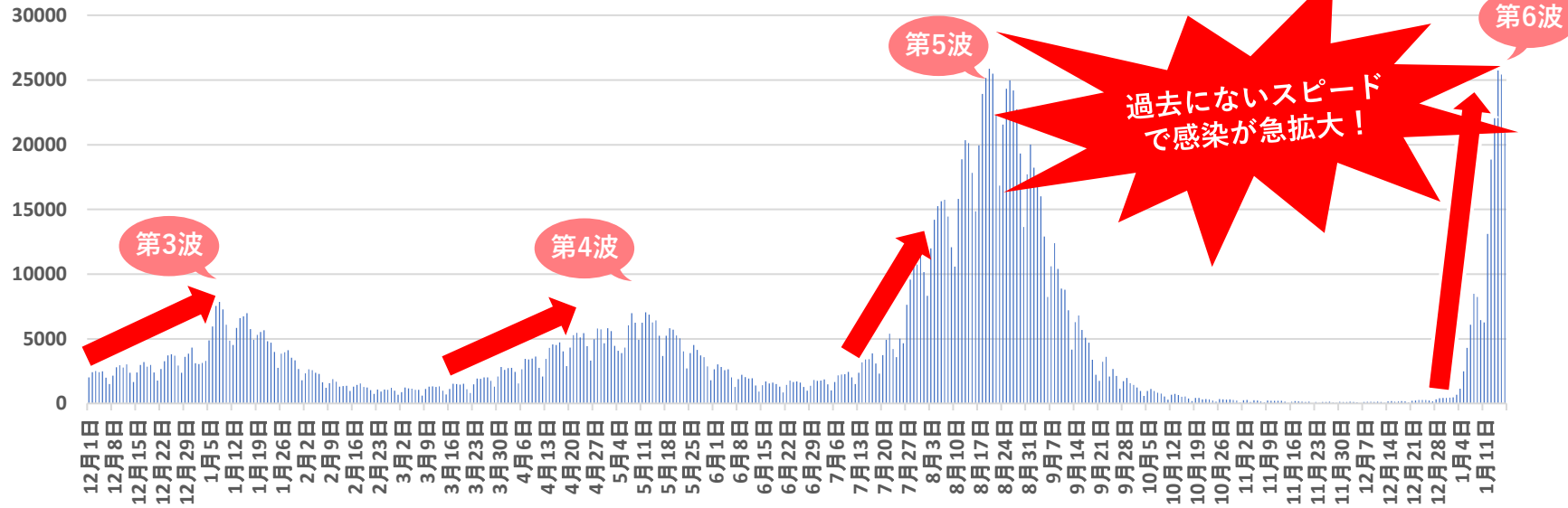


令和4年1月18日

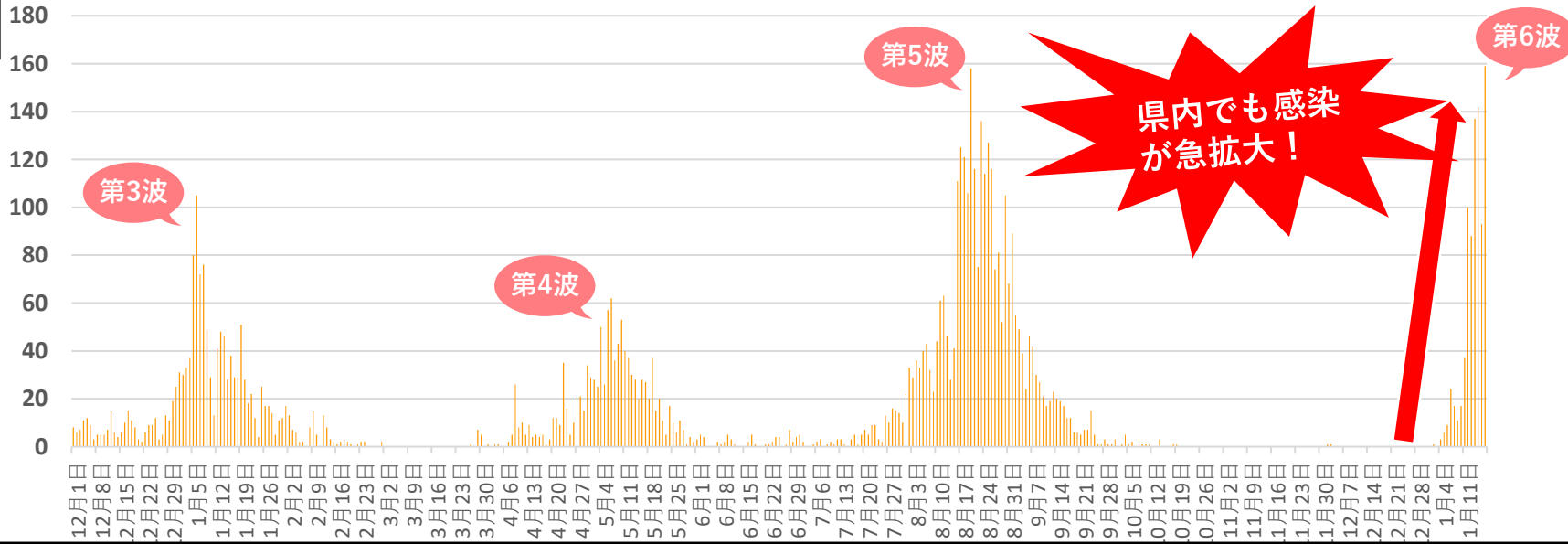
知事定例会見

全国と県内の感染状況

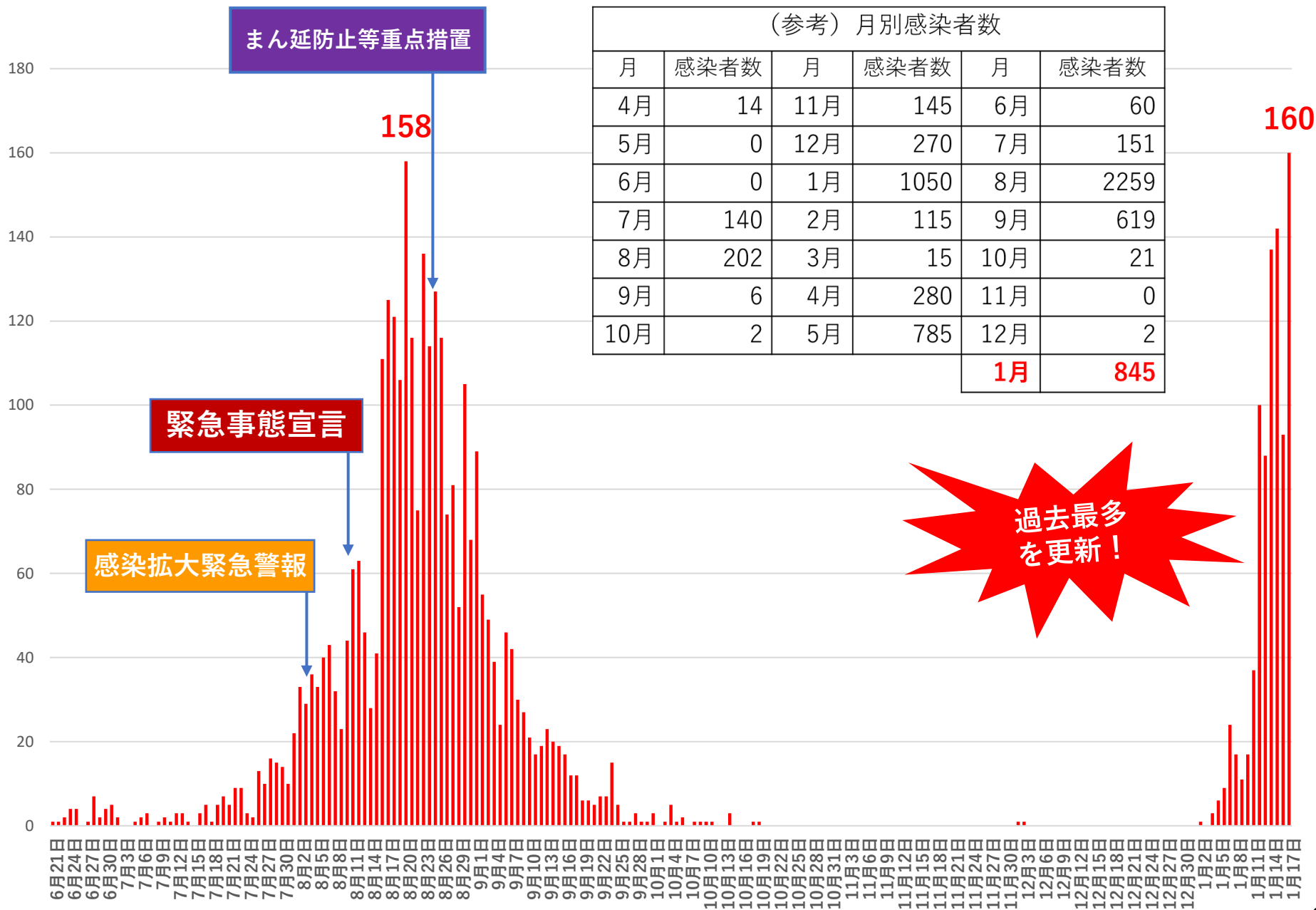
全国



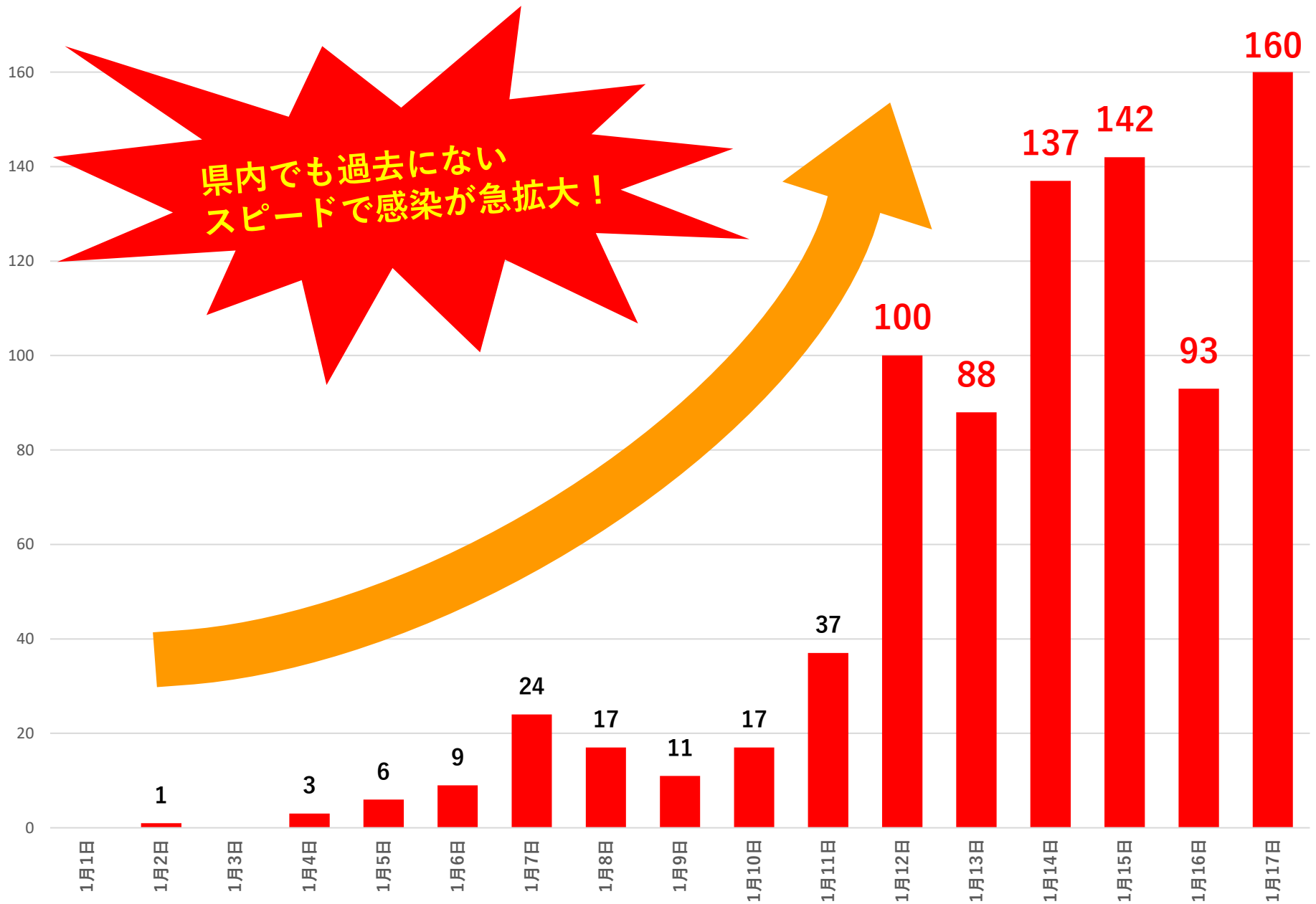
宮崎県



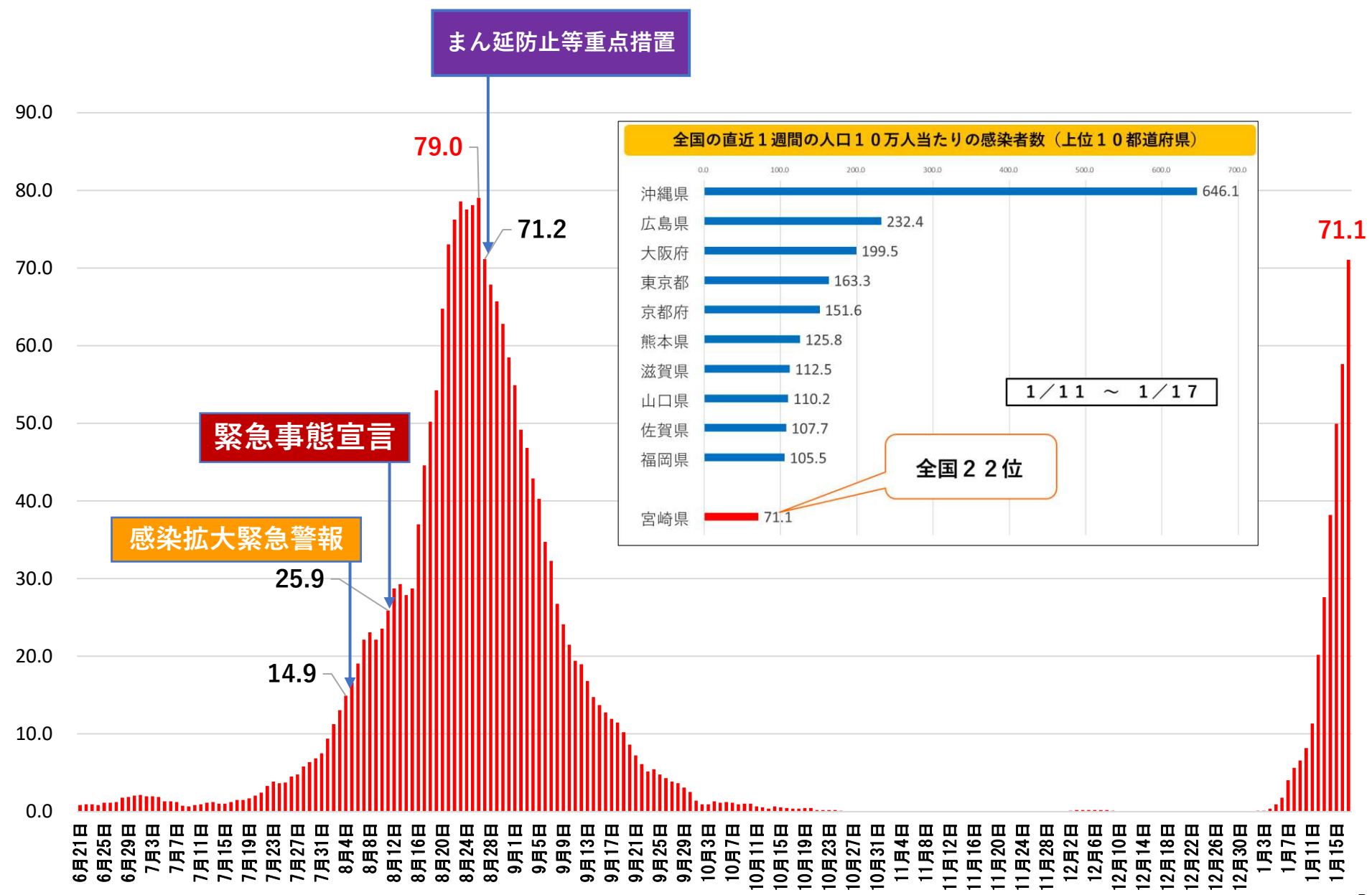
本県の1日当たりの新規感染者数



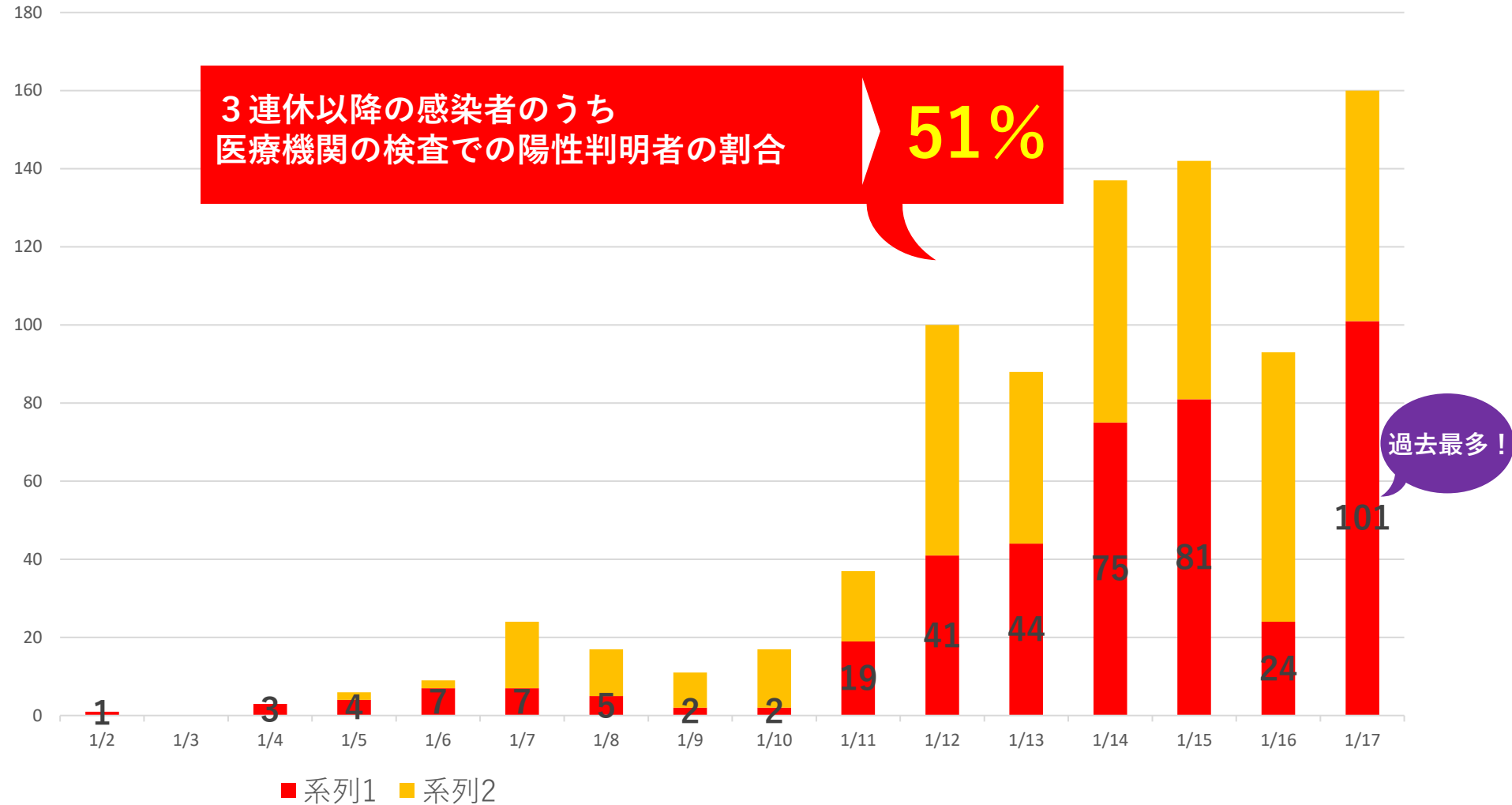
年明け以降の新規感染者数の推移



本県の直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数



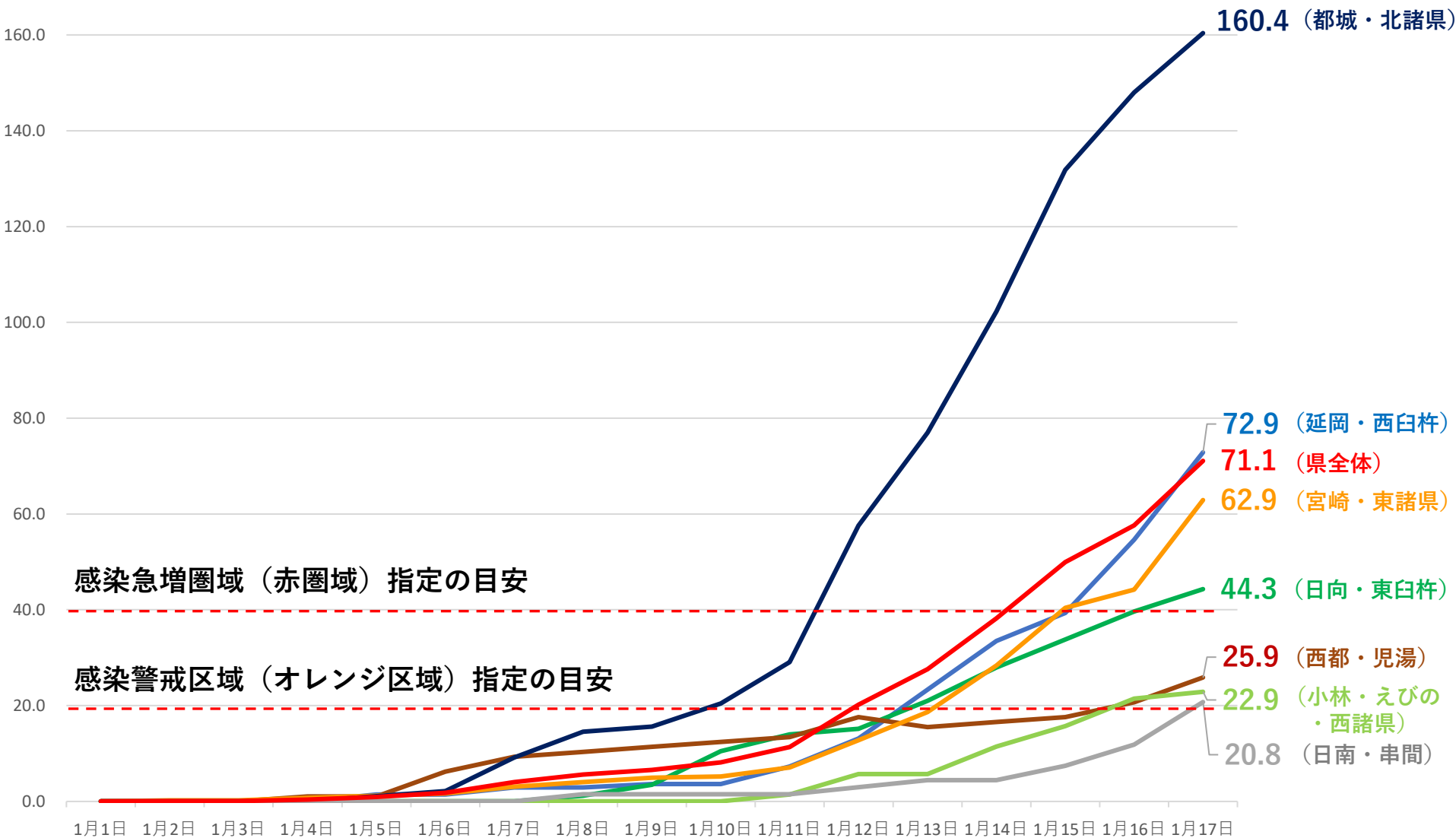
行政検査・医療機関検査での陽性者数の推移



医療機関検査での陽性者数が急増!

各圏域の感染状況

(直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数の推移)



関係指標の状況

指 標		現状値	備 考
医療提供体制等の負荷	①病床の ひっ迫具合 (現時点での確保病床数の占有率等)	病床全体	18.5% ・1月17日時点 ・現時点での確保病床数 265床
		うち重症者用病床	0.0% ・1月17日時点 ・現時点での確保病床数 15床
		入院者数 (※)	49人 ・1月17日時点
	②療養者数 (直近1週間の人口10万人当たりの療養者数)	74.0人	・1月17日時点 ・療養者数：入院者、宿泊・施設療養者、自宅療養者、入院・療養調整中の方を合わせた数
感染の状況	③PCR等陽性率	6.1%	1月6日から1月12日まで ・(医療機関での検査分を含む) ・陽性者数/PCR等検査件数
	④新規報告数 (直近1週間の人口10万人当たりの感染者数)	71.1人	・1月11日から1月17日まで
	⑤感染経路不明割合	41.3%	・1月8日から1月14日まで

※ 「感染拡大緊急警報」の発令目安：入院者数35人程度

※ 「緊急事態宣言」の発令目安：入院者数70人程度

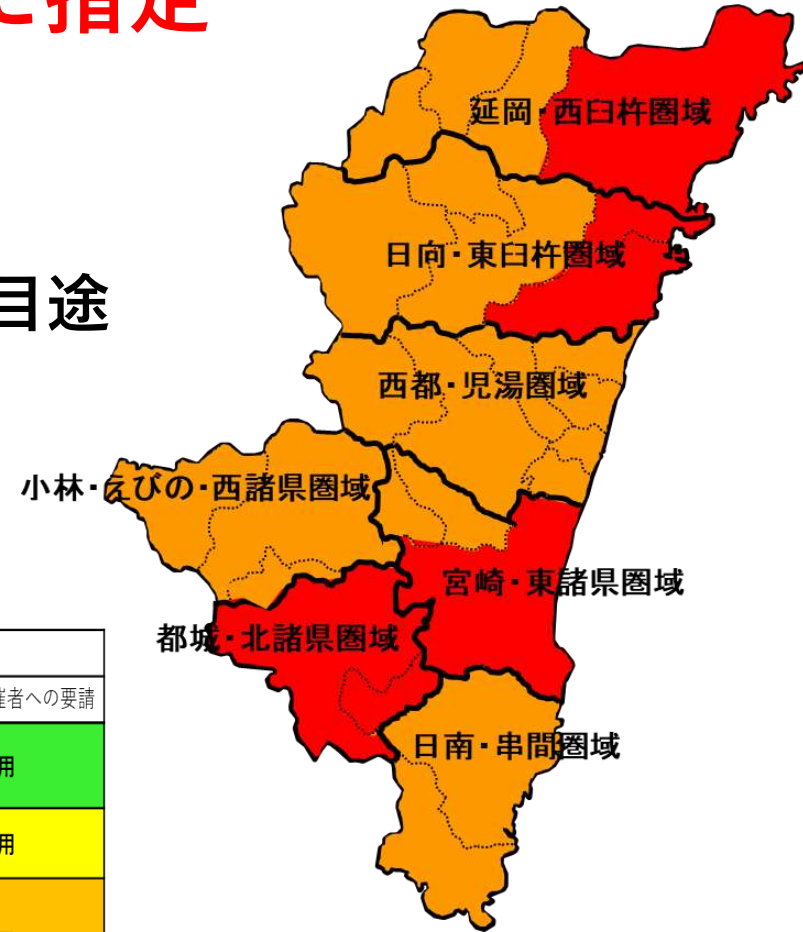
感染急増圏域（赤圏域）の指定について

■日向市、門川町を 感染急増圏域（赤圏域）に指定

【指定期間】

1月18日（火）～2月2日（水）を目途

※終期は、感染状況を見極めて判断



圏域ごとの感染状況の区分		行動要請例		
区分	一例（以下を目安として、総合的に判断）	県民への要請（外出）	県民への要請（飲食）	イベント主催者への要請
緑	感染未確認圏域 ・新規感染者が確認されていない ・感染者が入院又は療養した日の翌日から起算して14日間を経過している	○制限なし	○制限なし	○国基準を準用
黄	感染確認圏域 ・新規感染者が一定に収まっている	○制限なし	○制限なし	○国基準を準用
オレンジ	感染警戒区域（※1） ・新規感染者の急増や、感染経路不明の例続発、感染者集団（クラスター）の続発などにより、国レベル2相当又はそのおそれがある	○混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛	○人数の制限（一卓4人以下）	○国基準を準用
赤	感染急増圏域（※2） ・新規感染者の急増や、感染経路不明の例続発、感染者集団（クラスター）の続発などにより、国レベル3相当又はそのおそれがある	○混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛（感染状況に応じて、外出自粛を要請）	○人数の制限（一卓4人以下）	○国基準を準用

1月18日時点

感染急増圏域（赤圏域）の行動要請について

対象地域	要請期間
都城・北諸県圏域	1月13日（木）～2月2日（水）
宮崎市、延岡市	1月16日（日）～2月2日（水）
日向市、門川町	1月18日（火）～2月2日（水）

通院、通学、通勤、日常の買物など生活に必要な外出やワクチン接種、**選挙の投票**のための外出は自粛の対象外

※投票所等においては、必要な感染防止対策を講じています。

■外出・移動の自粛

- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛
- 圏域（市町村）外への不要不急の外出・移動の自粛**

■会食の制限

- 一卓4人以下（※）、2時間以内
- 高齢者、基礎疾患がある方、高齢者施設・障がい者施設・医療機関従事者の方は、会食は家族などいつも一緒にいる身近な人と

「ワクチン・検査パッケージ」適用による人数制限緩和は実施しない

■イベント開催における制限

- 収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度
 - ・収容率：大声あり50%以内、大声なし100%以内
 - ・人数上限：5,000人又は収容定員50%以内のいずれか大きい方
- ※5,000人超のイベントで、感染防止安全計画を策定した場合は、収容定員まで追加可（大声なしが前提）

○会食につながる場面の制限

■高齢者施設・障がい者施設の対面での面会制限

- ガラス越しやオンラインでの面会を

感染警戒区域（オレンジ区域）の行動要請について

【対象地域】 全市町村（宮崎市、都城市、延岡市、日向市、三股町、門川町を除く）

【要請期間】 1月13日（木）～2月2日（水）

【要請内容】

①混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出・移動の自粛

②会食の制限

○一卓4人以下（※）、2時間以内

「ワクチン・検査パッケージ」適用による人数制限緩和は実施しない

○高齢者、基礎疾患がある方、高齢者施設・障がい者施設・医療機関従事者の方は、会食は家族などいつも一緒にいる身近な人と

③イベント開催における制限

○収容率と人数上限でどちらか小さい方を限度

・収容率：大声あり50%以内、大声なし100%以内

・人数上限：5,000人又は収容定員50%以内のいずれか大きい方

※5,000人超のイベントで、感染防止安全計画を策定した場合は、収容定員まで追加可（大声なしが前提）

④高齢者施設・障がい者施設の対面での面会制限
（ガラス越しやオンラインでの面会を）

■基本的な感染防止対策の徹底を！

- ・ 3つの密（密集、密接、密閉）を避けましょう
- ・ マスクを適切に着用しましょう
（できるだけ不織布マスクの着用を）
- ・ こまめな換気や手洗い、手指消毒を行いましょう
- ・ 少しでも体調に異変がある場合は、出勤や外出を控えて、すぐに身近な医療機関を受診してください
- ・ 感染に不安のある無症状の方は、無料検査を積極的に活用してください

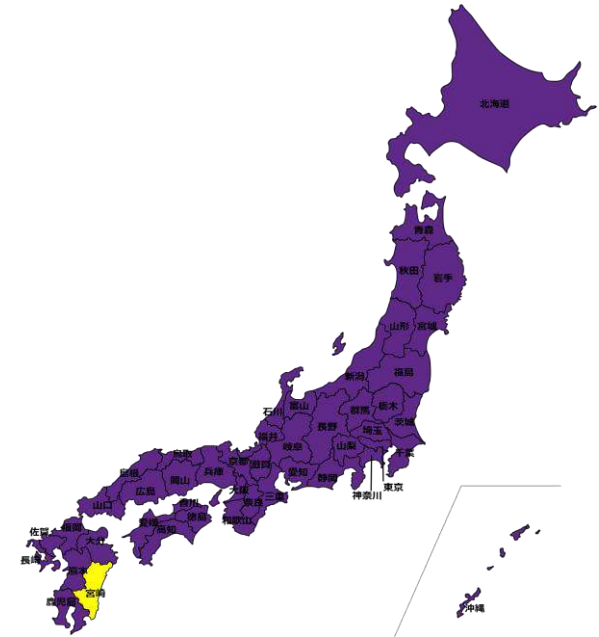
受診や相談する医療機関に迷う場合は

宮崎県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター
TEL：0985-78-5670（24時間対応）

県外との往来について

オミクロン株の影響により

全国的に過去にない
スピードで感染が急増！



当面の間、

不要不急（仕事などを除き、可能な限り）の

県外との往来自粛を！

※「ワクチン・検査パッケージ」の適用を停止

当面の間、

不要不急（仕事などを除き、可能な限り）の

来県自粛

をお願いします

※「ワクチン・検査パッケージ」の適用を停止

オミクロン株であっても 最大限の警戒を！

- デルタ株と比較して重症化しにくい可能性が示唆
- 知見が定まっておらず、後遺症のリスクも
- 感染力が強く、二次感染、再感染のリスクも高い

→ このまま新規感染者の増加が続き、高齢者や基礎疾患を有する方に感染が波及した場合、入院者や重症者の増加に伴う医療のひっ迫や社会経済活動への甚大な影響が懸念される

社会全体で早期の感染抑制が必要！

1 キャンプ実施球団等

○プロ野球 7球団

読売巨人軍、福岡ソフトバンクホークス、オリックス・バファローズ、
広島東洋カープ、埼玉西武ライオンズ、東京ヤクルトスワローズ（ファーム）、
東北楽天ゴールデンイーグルス（ファーム）

○Jリーグ 17チーム程度 ※チーム名は調整ができ次第公表。

2 キャンプ実施方針

以下の方針のもと、万全な感染症対策を行いながら有観客で実施予定。
ただし、全国及び本県の感染状況等の変化に応じて球団や地元自治体等とも連携しながら対応を随時検討する。

○球団等に対し、国のイベント開催基準や日本野球機構等が定めるガイドラインの遵守を求める。

○「まん延防止等重点措置区域」、「緊急事態措置区域」となった場合であってもワクチン・検査パッケージ制度の適用等による人数上限緩和は行わず、国のイベント開催基準に準じた人数を上限とする。

○球団や観客等に対し、県が定める行動要請に従うよう求める。
※県外からの不要不急の来県自粛を要請（1/13～当面の間）

【参考】国のイベント開催基準に準じた人数上限

	感染防止安全計画策定	チェックリスト作成
	<p>〔プロ野球1軍5球団（巨人、ソフトバンク、オリックス、広島、西武）〕</p>	<p>〔プロ野球2軍2球団（ヤクルト、楽天） Jリーグ有観客チーム〕</p>
下記区域以外	人数上限なし	5,000人まで
重点措置区域	<p>20,000人まで</p> <p><u>※ワクチン・検査パッケージ制度の適用等による人数上限緩和は行わない（県独自）</u></p>	
緊急事態措置区域	<p>10,000人まで</p> <p><u>※ワクチン・検査パッケージ制度の適用等による人数上限緩和は行わない（県独自）</u></p>	

※上記人数に関わらず、来場者同士が触れ合わない間隔を確保するために設定した数を上限とする。

感染拡大緊急警報

発令中！